

市議団ニュース

1754
2015.05.31
日本共産党
根室市議団
宝林町 4-203
電話 23-6023
FAX 24-1684

終戦から七十年

私たちに出来ることは何か

今年はその第二次世界大戦、日中戦争・太平洋戦争の終戦から七十年の節目の年を迎えようとしています。この5月26日から国会では、「戦争立法」の論議が始まりました。「戦争をしない国」として信頼されてきた日本。「本当の平和」のために、今私たちに何が出来なのか、今号は読者の皆さんと「終戦七十年」を考えたいと思います。



上の写真は、友知海岸にある二つのトーチカの一つです

「ポツダム宣言」の受諾とは？

今国会の党首討論。日本共産党は一昨年の参院選挙、昨年の衆院選挙の躍進によって、十一年ぶりに党首討論で志位委員長が安倍首相と議論を交わすことができました。その持ち時間はわずか七分でしたが、安倍首相の「危険性」を明らかにしました。それは「戦争立法」の成立を狙う安倍首相の歴史認識が「実に危険」で「国際的に大問題」となるものでした。「安倍首相がポツダム宣言をつまびらかに読んでいない」と述

べたことは驚きでした。

「ポツダム宣言」は、「日本（）軍国主義が国民をだまし、世界征服の拳にでる誤りを犯した権力と勢力は永久に除去すべき」と宣言し、日本の起した戦争は、「間違った戦争」と規定しました。戦争を終わらせるに当たって日本政府はこの「ポツダム宣言」を受けい

れ、その二年後に平和主義を始め「憲法三原則」を基礎に今日の日本を作り上げてきました。これが戦後日本を形づくった大枠。「戦後の体制」です。

この戦後の体制（戦後レジーム）が気に入らない安倍首相がこれを壊そうとするのが「海外で戦争する安保体制」すなわち「戦争立法」です。

平和のために出来ること

それでは私たちは日本の平和のために何ができるのでしょうか？終戦七十年を迎える年だからこそ、私たちは今一度「あの戦争と向き合う」ことが大事だと考えます。

まず戦争のことを知る

「あの戦争と向き合う」ことは、まず戦争のことを身近なことから知ることが何よりも大切です。

根室の戦争遺産を残す

私たちの住む根室にはたくさんの「戦争遺産」が現存しています。上の写真は友知海岸にある二つの「トーチカ」の内、東側にあるものです。「トーチカ」とはロシア語だそうです。鉄筋コンクリート製の防御陣地を意味します。

「トーチカ」は、アメリカ

力軍が千島列島沿いに南下し北海道に上陸することを想定して北海道でも主に、太平洋沿岸に造られたもの。多く残っているのは、苫小牧周辺、大樹周辺、釧路周辺、網走周辺と根室の太平洋海岸等。根室は、落石の三里浜、長節、東和田、桂木、友知や歯舞海岸に8カ所ほどの「トーチカ群」があるとされています。

また、花咲港、歴史と自然の資料館

「旧海軍の通信施設等、根室第一飛行場（ワッタラウス＝桂木の近く）跡、牧之内飛行場跡、落石の無線送信場跡、キナ

トイシ（歯舞半島）の電探場跡やトーサンポロにも戦争遺産があります。それを後世に残し記録することが重要です。教育委員会（資料館）では、六月六日（土）午前九時～午後一時、まで、史跡見学会「根室の戦争遺産を巡る」の参加者を募集。トーチカ、牧之内飛行場跡、旧落石無線跡等の歴史遺産の「ツアー」を計画しています。希望者は、「歴史と自然の資料館」電話 25の3661まで申し込みを。

市が平和祈念碑を建立

根室市は長い間懸案となっていた「平和祈念碑」を鳴海公園にこの八月に建立します。その「碑」に根室空襲研究会が市民の皆さんからの「浄財」寄付を集め、「根室空襲犠牲者」の名前を石に刻みます。

七月十四、十五日の空襲

の悲惨を伝える写真展等もその前後に開催する予定。身近にある戦争遺産等を知り、学ぶことこそ、いま国会で論議となる「戦争立法」や平和について認識を深め、さらに明日へつながる一つの道だと考えます。